

20周年記念講演会の開催について

アラミド補強研究会

去る平成 28 年 10 月 31 日、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターにおいて、アラミド補強研究会 20 周年記念講演会を開催いたしました。講演会には約 280 人の方々にご参加をいただき大盛況の内に終了いたしました。

開会に当たり、益子博志副会長が「耐震補強やインフラの長寿命化がますます注目を浴びている。われわれはアラミド技術を通じてこれらの期待に応え、社会に安全・安心を届けていく」と挨拶をいたしました。

ご講演は、土木研究センター理事長 西川和廣氏より「道路橋の診断～橋の Dr.General を目指して～」と、京都大学学際融合教育研究推進センター特任教授 宮川豊章先生より「造りこなし、使いこなすーコンクリート構造物の補修・補強についてー」の 2 題で、これからのインフラ整備・維持管理についての考え方をわかりやく解説していただきました。

引き続き、当研究会の中井広報委員長から「アラミド補強研究会の 20 年」として、これまでの活動の一端が紹介されました。

最後に鹿島建設の坂田昇部長が閉会の挨拶をいたしました。

また、講演会の後、懇親会も開催されました。帝人株式会社の朝比奈 達部長が開会の挨拶を行い、首都高速道路株式会社の田嶋仁志部長、鉄道総合技術研究所の岡本 大室長、東日本高速道路株式会社の本間淳史課長、強化プラスチック協会の邊(べん)吾一会長にご祝辞をいただきました。最後に、東レ・デュポン株式会社の平井 陽取締役が閉会の挨拶をいたしました。

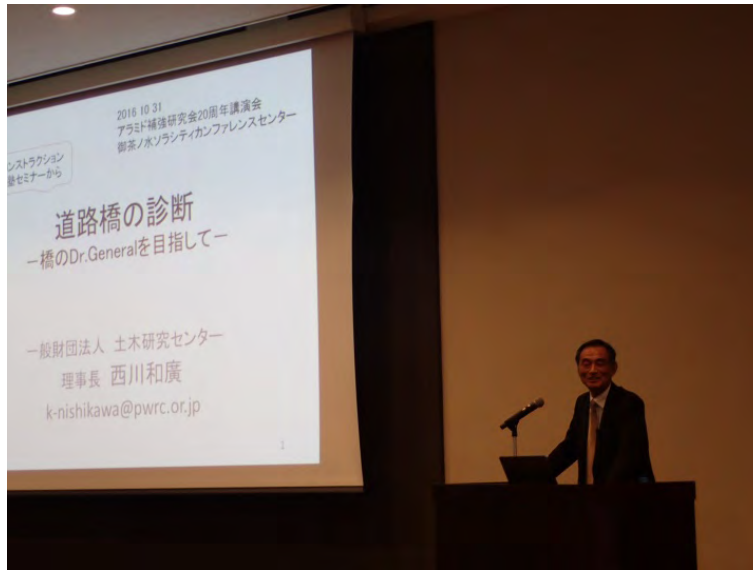
アラミド補強研究会といたしましては、今後もアラミド繊維を活用した補修・補強工法に関する研究開発ならびに普及活動に鋭意取り組んでいく所存です。関係各位のこれまでのご指導・ご鞭撻に感謝申し上げますとともに、今後ともアラミド補強研究会の活動にご理解賜りますよう、お願いいたします。



講演会場



益子副会長の挨拶



西川理事長のご講演



宮川先生のご講演